

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月12日

【評価実施概要】

事業所番号	3873800415		
法人名	有限会社 ラッセル社		
事業所名	うっかり長屋きなはいや		
所在地	西予市野村町野村11-1 (電話) 0894-72-1371		
管理者	宮崎 初代		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年6月24日	評価確定日	平成20年8月12日

【情報提供票より】 (平成20年5月18日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年3月24日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	13人	常勤	3人, 非常勤 10人, 常勤換算 7.15人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	12,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		
(3)利用者の概要 (平成20年5月18日現在)			
利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	0名	要介護2	4名
要介護3	5名	要介護4	0名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 84.4歳	最低 77歳	最高 92歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>新人職員は、法人代表者から認知症ケアについて指導を受けておられる。又、職員は「うっかり長屋のサービス提供の具体例」をもとに、ケア方針等を共有しながら日々取り組まれている。 職員は、利用者から調理の仕方・季節の行事・野菜作り等、教わる事が多い。職員は、新人の頃「あんたがおって嬉しい」と言われたことが励みになって、続けることができたと話されていた。 ご本人がこれまで生活していた場所を訪ねたり、病院受診も職員を増員して支援されている。 利用者と職員と一緒に買い物に行き、献立を決めておられる。利用者も準備や片付けをされている様子がうかがえた。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ご家族から、電話の際等、「誰とお話したのか分からない」というようなご意見をいただき、職員の名前を名乗るように改善された。
<p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価は、職員に意見を聞き取り、管理者がまとめられた。外部の目の大切さを感じておられた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議時、出席者から地域行事の情報を教えていただいたり、世間話し等を行うこともある。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月のご家族の来訪の際に、近況報告をされている。ホーム便りを作成されており、事業所全体のエピソードをご家族に伝えておられる。ホームページも開設された。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 散歩や買い物際にはご近所の方に声を掛けていただき、地域行事への参加も多くなってきている。今後、地区の清掃活動にも参加する予定となっていた。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 うっかり長屋 きなはいや

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

西山洋一 (ホーム長)

評価完了日

平成20年5月28日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			その人らしく暮らせる支援を心がけている。 束縛、強制のない行動の支援をいつも心がけたい。		
			(外部評価)		
			事業所は「呆けても自分らしく生きられる」という理念のもと、利用者の生活を支えておられる。		この機会に、地域密着型サービス事業所として、貴事業所が地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、話し合ってみてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			呆けても自分らしく生きられるよう、心がけて支援を行ってはいるが、他者との関係にも気にかかる時がある		
			(外部評価)		
			管理者は、職員が理念を実践できるように日々の中で指導されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			散歩、買い物など地域の方と関わりがもてるよう努めている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) あいさつ、立ち話、日々自然に行われている行動を大切にしている		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 会合の参加は行っていないが、地域行事は気にかけている (外部評価) 散歩や買い物際にはご近所の方に声を掛けていただき、地域行事への参加も多くなってきている。今後、地区の清掃活動にも参加する予定となっていた。		会合の参加ができないか検討していく
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 質問、相談には応じているが、取り組みとしては行っていない		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 注意事項、気にかかることは話し合っている (外部評価) 自己評価は、職員に意見を聞き取り、管理者がまとめられた。外部の目の大切さを感じておられた。ご家族からの意見を受けて、ご家族からの電話時には、職員は名前を名乗ることとされた。		自己評価に取り組む際、事業所で気付かれたことは、改善への最大の起点でもある。又、評価結果等も十分に活かし、サービス評価を貴事業所のさらなる質の向上につなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
				気になること、気にかかることなど、参考意見が聞け地域の方に浸透していけるよう心がけたい	
			(外部評価)		
					さらに、出席者から意見をいただくための工夫を重ねていかれてほしい。グループホームの役割をさらに知っていただくための取り組みや認知症の理解を深めていただけるよう、会議のすすめ方等についてもさらなる工夫が期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
				市からの訪問があり、感想、意見を述べて頂いている	
			(外部評価)		
					管理者は、グループホームの集まりに参加されている。介護相談員を受け入れ、話し合いをされている。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
				必要な方がいないため、行えていない	
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
				言葉の虐待も気をつけている	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約を結ぶ時点で、説明を行っている		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 気になることは本人が言っているが、外部へ表す機会として市からの訪問時行って頂き、参考にしている		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 訪問時、口頭で伝えている。変わりがあれば電話連絡も行っている。 必ず、月、最低1回の家族の訪問は確保できている		
			(外部評価) 毎月のご家族の来訪の際に、近況報告をされている。ホーム便りを作成されており、事業所全体のエピソードをご家族に伝えておられる。ホームページも開設された。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 訪問時の報告で、気になる事は職員会議時に伝え、職員は気にかけ行動している		
			(外部評価) ご家族から、電話の際等、「誰とお話したのかわからない」というようなご意見をいただき、職員の名前を名乗るように改善された。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 必要時には、職員の増員も行っている		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要時、増員、勤務時間の延長も協力を得ている		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 事業所としての移動は少ない。離職は、無理を言えないためしかたないが、それが利用者へのダメージにはつながっていない		
			(外部評価) 事業所では、職員の離職等で利用者のダメージは、特にないと話されていた。		新しい職員の方と利用者との関係作りについても、さらなる配慮が期待される。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部からの講演を依頼したり、参考資料を置き、いつでも見ることができるようにしている		
			(外部評価) 新人職員は、法人代表者から認知症ケアについて指導を受けておられる。又、職員は「うっかり長屋のサービス提供の具体例」をもとに、ケア方針等を共有しながら日々取り組まれている。		さらに、職員個々が段階に応じて勉強ができるような仕組み作りも期待される。職員のさらなるレベルアップからも、事業所の質の向上を目指していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)		
			取組みとして行っていないが、市の会合は参加している		近所での同業者間の関わりをもてるようにしたい
			(外部評価)		
			市の会合等で、他事業所とともに勉強をされている。		さらに、市内のグループホーム事業所とのネットワーク作りに向けての、一步すすめた取組みが期待される。意見交換や相互訪問等、貴事業所のサービスの向上につなげられるような取組みをすすめていかれてほしい。
21		職員のストレス軽減に向けた取組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 負担軽減の為の増員や、希望休は休めるように勤務を組んでいる		
22		向上心を持って働き続けるための取組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 希望を聞き、可能なことは協力している		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			関わりをもち、気付きを深める努力をしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時によく聴き、支援の方向を話し合っている		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 可能な限り、支援することを伝えている		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) すぐに馴染みにくい方は、ためし利用もできる (外部評価) 入居案内時、空室状況によっては、泊りの体験ができるようになっている。入居間もない頃は、ご本人が落ち着かれるまで、多めの来訪をお願いされる等、ご家族と協力して取り組まれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の参加できることを作り、一緒に参加する機会を作っている。 (外部評価) 職員は、利用者から調理の仕方・季節の行事・野菜作り等、教わることが多い。職員は、新人の頃「あんたがおって嬉しい」と言われたことが励みになって、続けることができたと話されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 気になること、気にかかることは相談しながら行っている		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 必ず月に1回の訪問が可能な様に支援している		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 知人、家族の訪問が時々ある		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ソファや食事の座る位置を気にかげ、一人にならない様、職員が関わりをもつよう努めている		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 事項の挨拶、連絡など時折行っている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			あまり強く要求される方は少ない		馴染の関係をもち、意向に気付けるよう努める
			(外部評価)		
			日々の気付きを申し送りノートや業務日誌に記録し、職員全員で共有されている。ご家族からも情報を得て、ケアに採り入れておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時、家族の訪問時などに情報を得ているが、馴染の暮らしにはまだまだできていない		以前の暮らしに近付ける様、把握に努める
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			それぞれの有する力を活用できる状態に誘導できている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族の訪問時話し合ったり、スタッフ会議で話し合ったりして作成している		
			(外部評価)		
			ご家族・職員の意見をもとに介護計画を立てておられる。計画の実施状況を毎日、項目ごとにチェックされており、計画表以外に個別の日課表も作られている。職員の日々の観察により、利用者の意欲を支援するような内容も盛り込まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			必要時、計画の変更を行っている		
			(外部評価)		
			3ヶ月ごとの見直しと、状態変化時、見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			出来事に対する対応の記録を気にかけている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			多機能の理解力にかける		多機能性を理解する
			(外部評価)		
			ご本人がこれまで生活していた場所を訪ねたり、病院受診も職員を増員して支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 防災訓練を消防署に行ってもらったり、心肺蘇生や人工呼吸の実践指導をしていただいた。		受け入れをしたいが、活用は少ない
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 関わりが少ない		情報の交換、交流を作っていく
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 情報の提供が少なく、運営推進会議位しか関わりがない		情報の交換、交流を作っていく
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 個人のかかりつけ医へ、受診している (外部評価) それぞれのかかりつけ医を受診されている。利用者の状態に応じて、いつでも対応可能な協力医に変更をする場合もある。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要な時は受診し、相談、治療を受けている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) スタッフの中に看護職員がおり、対応方法の指示を受けている		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者の状態により早期退院をお願いし、通院での対応が可能になれば、退院し通院での対応を行っている		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 医療行為が常時必要となれば入院となるが、通院、往診で可能な場合はホームでの介助を行う事をスタッフが共有できている。電動ベッドを購入し、居室での対応もできるようにした。 (外部評価) これまで、重度化した場合、医療の必要性から入院されることが多いが、原則的には最期まで看るということを、ご家族に説明されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族、かかりつけ医との話し合いで、入院、通院を見極め、必要時は支援している		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 必要な医療時はしかたのないことだが、住み替えによるダメージがあれば他の方法を探し、早期退院を要請している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			自分に置き換え、対応方法を考え、会議などでも検討を諮る		
			(外部評価)		
			事業所便り等、写真を載せる場合、前もってご家族に了解を得るようにされている。入浴時、同性介助を希望される方には応えるようにされている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			言葉賭け、誘導に気をつける		関わりによる気付きで一緒に行えることを、さりげなく支援、誘導し強制しないよう心がける
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			他の入居者に対する関わりもあり、都合で誘導している時も見受けられる		可能な限りの支援は行うが、共同生活も考えなければならない
			(外部評価)		
			朝起きた順に新聞を読む等、利用者同士で共同生活のペースがある。利用者の不安や混乱となるようなものを一時的に取り除く等、利用者がスムーズに暮らせるようにされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 家族の協力によりでかけたり、職員が行ったり、美容院へ出かけたりしている		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) できることを見つけて一緒に行っている。		
			(外部評価) 利用者と職員で一緒に買い物に行き、献立を決めておられる。利用者も準備や片付けをされている様子がうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 時に応じ支援している		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排尿チェック表により、誘導、介助が行えている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			ほぼ毎日入浴されているが、本人の体調によって入れない日もある。		食後の入浴希望者がいる場合は、勤務時間の変更も必要となる
			(外部評価)		
			ほぼ毎日、入浴を支援されている。同性介助を心がけている。介護度が重度の利用者のためにリフトを検討されたが、「怖いのではないか」という職員の声もあり、現在は、職員二人で介助されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			寝つきの悪い方は、夕飯前の散歩に行ったり、お茶を飲まれたり、雑談したりして落ち着いて休んでいただいている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			皆での外出、ドライブ、季節行事に参加し、楽しみ、気晴らしとなっている。野菜作り、花の植え替え、テラスの塗り替えなども一緒に行っている。		役割としての行動が行えるよう、支援していくことができることは何か気付く
			(外部評価)		
			調理の下ごしらえ・洗濯物たたみ・畑の手入れ・カーテンを閉める等、利用者の好きなことや出来ることが役割となっている。テラスの塗り替え作業も利用者と一緒にされた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			限られた方だけになっている		ほしいものを買うことから始めてみる

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			要求のある時、要求者の希望に沿える様支援している		
			(外部評価)		
			日々、散歩や買い物に出かけておられる。地元の行事である「乙亥相撲」を楽しみにされていた。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			可能な限り、行っている		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			必要時は行っているが、希望者は少ない		場面作りの工夫をする
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			職員からの声かけを行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 心がけているが、転倒、身体的に悪化しての介助の為にどうしても行わないと入居者に負担のかかるときは家族と相談、承諾を得ている		承諾書の必要性が気にかかる
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 心がけている。 (外部評価) 日中、玄関に鍵をかけず、自由に暮らしていただけるよう支援されている。職員は、利用者個々がどこで何をしているかといことを意識されている。気ままに出かけられる方には、職員がさりげなく付き添われている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 心がけているが不意の行動に対応できていないときがある		常に意識し、所在を把握する
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 行動にあわせ行っているが、他の方が見ると寂しく見えるようで、調査のとき部屋を見られた方の感想にあった		訪問調査の為に介護は行いたくはない 利用者への気付きを深める
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 消防による指導は受けた。		急な対応ができるよう、対応方法を学ぶ機会を増やしていく

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的ではないが、必要に応じ行っている		急な対応にも応じられるだけの訓練を、定期的に行う
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防による指導は受けているがとっさ時の誘導に不安がある		近所への協力や、誘導の練習など協力を得られるよう近所への日々の関わりを持つ
			(外部評価) 事業所のすぐそばに消防署がある。防災訓練は消防署の指導のもと行われた。		さらに、いろいろな災害を想定した避難訓練を重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 気がついたことを訪問時伝えている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックを行い、変化に注意し、医療機関への誘導を行っている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全員がすべては理解できていない		目的、用法、用量などが確認できるようスタッフの目に付くところへ提示する
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 常に気にかけているが、どうしてもだめな時は服薬もある		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後に誘導して歯磨き、うがいを行っている		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分を摂取の為の誘導、食事量、バランスのチェックを気にかけている (外部評価) 野菜中心の献立となっており、定期的に体重測定を行い、医師とも相談しながら支援されている。利用者が気ままに外に出られたときには、職員がさりげなく付き添い、携帯とお金を持参し、長くなるような時には、自販機を利用し、水分補給をされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 外出時の手洗い、うがい、食事前の手洗いを行っている。		スタッフからの感染、通院による感染が多いと思われるので、外からの感染を防ぐ為、手洗い、うがいの徹底をする

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>布巾、まな板、包丁などいつも使うものは、殺菌消毒を毎日行っている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>転倒防止のフェンスや花を植え、やさしい雰囲気を作っている</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節により、場所の移動を試みたり、季節の花を飾ったり心地良く過ごせる様工夫している</p> <p>(外部評価)</p> <p>季節の花が飾ってあり、水槽には川えびやめだかが泳ぎ、窓からは野菜や花、通る人や外の様子がよく見える。畳のコーナーで横になったり、ウッドデッキで外気に触れることもできる。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファに座ったり、畳、椅子で過ごしたり、思い思いに過ごしている</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			家族が運んで来られるが、家具などは使い慣れたもの とは言えないかもしれない		家からの持ち出しは無理を言えないこともある
			(外部評価)		
			入居時には、ご家族に使い慣れたものを持ってきて いただくように働きかけておられる。居室のしつらえ は、現在、ご家族にお任せしている。		さらに、利用者とも相談しながら、ご本人が居室でも 居心地よく過ごせるようなしつらえについて、事業所 でも話し合ってみてはどうだろうか。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	(自己評価)		
			気温、湿度など気にかけて行っている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)		
			必要に応じ、手すり、福祉機器などを準備している		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	(自己評価)		
			自立に向けての支援は行っているが、わかる力への気 付が見極めてできていないかもしれない		関わりを深め、わかる力に気付く
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			菜園や花壇を行っている。テラスで日向ぼっこをし たり、おやつを食べたり、水やりに出たりしている		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	完全ではない。思い道理にできない時がある(安全、本人の行動が優先)
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	ゆったりと個人のペースにあった時間を一緒に過ごせている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自我を強調する方が少ないため、全員ではない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	関わりを持ち支援を行っている
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ここに行きたいと言う場所はあまり言われないが、話の中で出てきた所や行事がある時は、皆で出かけたりして思い出話をしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	かかりつけ医院が近いので、定期的に通院したり、急に状態に変化があった時は受診している
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	そうあるように支援を行っている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	訪問時など気になることなどを話したり、アルバムをみていただいたり、通信などを配ったり、変わったことがあると連絡を取っている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	野菜を届けてくれたり、様子を気にかけて訪問がある

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	判断した具体的根拠 少しずつ理解を得てきている
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	判断した具体的根拠 身体的に悪い方が多い為、スタッフの活躍が頼もしい
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	判断した具体的根拠 強制しないことを心がけ支援しているが、入居者の方は遠慮もあるのではないかと
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	判断した具体的根拠 本人がとても喜んでるので安心していきます。と言う声があった。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

呆けても自分らしく生きられるを理念に、自分らしい行動の支援、強制のない対応を行い、自分の家族や、自分が将来生活しても良いと思える所にすることを気かけ行動している。自分の家ではないけど、家に近い居場所で、のんびり、ゆっくり、皆一緒に楽しんで生活し、家に帰り生活したいと言う思いをかなえられるよう支援していく